

# そうじの力だより

VOL.186



## 支援事例紹介

昨日よりも今日、今日よりも明日と進歩していく  
 ～(有)ファインのあくなき歩み～

福井県鯖江市の有限会社ファイン。メガネフレームやライターなどにおしゃれなデザインを印刷する、特殊印刷の会社です。

印刷会社だけに、当初は、床と言いつつ壁と言いつつ、インクまみれで、それが当たり前の状態でした。

「そうじの力」を導入して九年が経つた今、工場内にインク汚れは皆無です。床面は、舐められるくらいキレイにピカピカです。設備や道具は、細かく定位置化され、誰が見ても、どこに何がどのくらいあるか一目見てわかるようになっていきます。



舐められるくらいキレイな工場の床面

これまでのレベルになると、もうやる事がなくなり、マンネリ化して、活動が停滞してしまうのではないかと危惧されるころですが、同社にその心配はなさそうです。

このコロナ禍で、私の環境整備研修も久しぶりの開催となりました。約一年ぶりに訪れた同社は、相変わらずキレイで整っているだけでなく、さまざまな面で、以前よりも進歩しているのが目に見えて、とても嬉しく思いました。

たとえば、工場の玄関口。雪国のため、冬季は消雪パイプからの温水が路面に散布されます。すると、水の中の鉄分なのでしょう、路面が赤茶けてしまうのです。

以前から、この赤茶けた鉄分を、どうにか取れないかと話していました。



(左)アフター (右)ビフォー

路面の一部が明らかに他の部分と違い、キレイになっていない。ではあるかもしれませんが、聞いてみると、鉄分専用の洗剤を使って落としたり、アスファルトを黒く塗るスプレーを使うなど、試行錯誤しながら、徐々にキレイにしているのだとか。

きつと、大変な労力を要したことでしょう。頭が下がります。

そして、研修室の床面。ここは、これまで、壁紙を貼り替えたり、床面を塗



塗り替え途中の研修室の床面

り替えたり、いろいろと手を入れてきたところ。今回は、グレーだった床面を、ライトグリーンに塗り替えている最中でした。

社員さんたちの、「もっと明るい空間にしたい」という提案を取り入れて、この色に塗り替えることにしたそうです。「やるからには楽しく」をモットーとする、同社らしい取り組みです。

また、インクを調色する際に使う溶剤から床面を保護するために、以前は調色室にビニールマットを敷いていたのですが、

より耐久性があり、見栄えも良いPP製の硬質ボードに変えられました。これによつて、耐久性と見栄えが良くなっただけでなく、作業性や安全性も良くなったことが伺えます。



PP製ボードを敷いた調色室の床面

ではなぜ、同社が、高いレベルにある現状に満足せず、昨日よりも今日、今日よりも明日と、進歩しつづけているのでしょうか？

それはひとえに、日々の活動を愚直に続けている結果だ、としか言いようがありません。

同社では、毎日三〇分間のそうじをしてから朝礼を行っています。朝礼においては、その日のそうじで気づいたことを発表し合っており、気づきを共有しています。週に一回は、工場の床面全体を全員で雑巾がけしています。

また、毎週一回一時間、大掛かりな改善活動を行っています。道具の定位置化や、壁や床面の塗り直し、レイアウト変更などです。

さらに、月に一回「班長チェック」が行われます。これは輪番で任命された班長二人が、会社内を歩いて見て回り、改善が必要な点を指摘し、より良くするためのアイデアを提案する場です。



棚の中身を出して、拭き上げる(実習)

こうした取り組みをこの九年間、ずっと続けてきました。そしてもちろん、このコロナ禍の中でも、休むことなく続けてきました。

そのおかげで、同社の団結力は半端ではありません。工夫や改善の能力も優れているので、利益率も高いということです。

「小さくても誇れる会社」のお手本が、ここ鯖江にあります。(小早)

新サービス『環境整備診断』はじめました！御社の「健康状態」を環境整備の観点で診断し、改善策をご提案します。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

## 今月の読書から

雑誌『MAMOR (マモル) 2020年12月号』  
～きれいな軍隊は強い軍隊～



軍事マニア向けの雑誌です。私自身はこの分野に特に興味はないのですが、先日、新聞にこの雑誌の広告が載っていて、その見出しの「自分

を磨く自衛隊式掃除法」に目が留まり、さらにサブタイトルの「戦車を洗車する技術と心」というダジャレに思わず吹き出し、すぐに注文して購入しました(笑)。

〈自衛隊では、新入隊員は最初の3か月間で行われる基礎教育中から、徹底して掃除や整理整頓を教え込まれる。それはとても厳しく、何度もやり直しをすることもあるという。なぜ掃除をみっちり教えるのか、そこには自衛官として必要で明確な理由があった。〉

〈掃除を重視する理由の一つは、仕事と生活の場を清潔に保つため。隊員は基本的に駐屯地・基地内で集団生活を送るので、病気の予防につながる環境衛生は大切だ。〉

〈整理整頓も重要。部屋が散らかっていると十分な掃除ができない上、緊急事態に即応できない。たとえ夜間に緊急招集が掛かっても、そしてそこが暗闇であっても、どこに何があるか分かるように整理されていれば、すぐに必要な装備を手に取り、身に着け出勤することができる。〉

〈また、掃除教育には精神修養の意味もある。自衛隊の装備類は、全て国が保有する資産であり、物品愛護について徹底した教育を受けている。なので、自分が受け取ったときよりも美しい状態で「お返し」し次の人に託す、という精神で運用している。〉

〈また掃除は装備品の安全確認という役割も持つ。汚れで隠れたひびや傷を発見できるのも掃除の効用。補修や修理が必要な場所の早期発見にもなる。〉

〈そして、掃除は日本を守ることに。清潔に保たれ整頓された装備を見ると、その部隊の精強さが分かる、と、軍事の世界ではいわれている。きれいな軍隊は強い軍隊なのだ。国防を担う自衛隊も、掃除を徹底することによって、精強さを表し、ひいてはそれが抑止力となって、平和を守ることに繋がっているのだ。〉

記事には、駐屯地の居室空間の掃除をはじめ、戦車の洗車法や、砲や小銃、そして弾丸に至るまで、それぞれの装備品の細かい掃除法が解説してあります。

私が個人的に一番気に入ったのは、編集後記に書かれていた教官の松村3曹からは「念入りに掃除するとささいな汚れにも気付けます。重箱の隅をつつくような指摘は嫌がらせではないので、気を悪くしないでください」と優しいフォローがありました。〉とのくだり。

そうです。私も皆様の会社の現場で、重箱の隅をつつくような指摘をするのは、決して嫌がらせではなく、皆様への愛情の証なのです(笑)。 (小早)

### 編集後記

#### 年末年始のご挨拶

月日が経つのは本当に早いものです。

先日テレビで、カセットコンロの耐用年数は10年で、それ以上使用するとガス漏れなどの恐れがあり危険、と言っていました。

さっそくウチのコンロを確認してみたところ、もう19年も使っていることが分かり、慌てて買い換えたところです。

そんなこんなをしているうちに、あっという間に令和2年も暮れようとしています。どうぞ令和3年が皆さまにとって、世の中にとって良い年でありますように！ (小早)



### 飛鳥のつばやき

#### ちえくらべ

次男がテレビをガンガン叩くので、近づけないように、人工芝を逆さまにして敷いていました。

上に乗ると足つぼマッサージのごとく痛いので、しばらく近づかなかったのですが、いつの間にかこの最終防衛ラインを突破。

これまた器用に、痛いところに手をつかないように座るんだよなあ。次の手を考えなければ…。

本年は大変お世話になりました。2021年、良い年になりますように！ (大槻)



## 株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、  
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝環境整備」を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場検証を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)